

竜生ダム

りゅうういだむ

地域のかんがい用水として重要な阿武隈川支流、釈迦堂川。しかし、暮らしに欠かすことのできない川にも、たびたび洪水災害が起こり、その災害を防ぐために、昭和25年、ダムの建設が始められました。13年後の昭和37年には、堰頂長148.5mの竜生ダムが完成。人々の暮らしに潤いと安心を提供しています。

周辺は、豊かな自然が四季の彩りを見せてくれます。



明神滝

みょうじんのたき

湯本地区、赤石川の支流黒沢にかかる滝。保多沢の橋を渡り、水田から続く急な坂道を下って行くと、原生林が濃く茂るなか、勢いよく流れ落ちる男性的な滝を見ることが出来ます。水量の多い時には、滝つぼにとうとうと、しぶきが舞っています。

滝の左岸頂上にある直立した大きな一枚岩のかたわらには、宗像三神の一つといわれる田心姫命たごりひめのみことが祭られています。その御神体は蛇体であるとされ、日照りの時でもこの社に祈ると、必ず雨が降ると言い伝えられています。



馬尾ノ滝

まおのたき

30mの断崖を流れ落ちる馬尾ノ滝。この滝は水量の多いときには、十数mの大滝となりますが、普段は馬のしっぽのように数列になって流れ落ちることから、この名前がついたといわれています。滝つぼの近くに立つと、水しぶきが散り涼しさを誘います。特に秋の紅葉のシーズンの美しさは必見。

湯本地区には、他に明神滝、雨降滝、鳴海滝、藤沢滝、葡萄滝、七曲滝、天笠滝、穴沢滝などの滝があります。梅雨時にしか現れないという幻の滝もあります。



二岐溪谷

ふたまたけいこく

みちのくの秘湯「二岐温泉」から南西に約4kmほど奥に源を発する二岐川。その清冽な流れはブナやあすなろをはじめとする樹齢何百年という原生林に守られてきました。

ふと目を閉じれば、野鳥たちのさえずりや静かな森の息吹、カモシカの高鳴きが聞こえてきます。身体いっぱい自然のハーモニーを感じることもできるスポット。

漫画「紅い花」や映画「無能の人」などで知られる漫画家つげ義春の作品「二岐溪谷」の中でも神秘的な自然の豊かさが紹介されています。

